



Vol.12

発行

琉球舞團 昇龍祭太鼓

〒166-0013

杉並区堀ノ内 2-4-2

TEL/FAX 03-3317-5546

<http://www.matsuridaiko-tokyo.com/>



◆沖縄プロモーションビデオ撮影

◆タイ支部、旭川支部通信

◆デビュー、新人紹介

◆撮影地ロケーションマップ

◆熊本遠征

◆New 昇龍メンバー対談

New Year Greeting

新年のご挨拶 / 琉球舞団 昇龍祭太鼓

琉球舞団 昇龍祭太鼓

団長 矢嶋美樹



雨の新宿と晴天の沖縄

明けましておめでとうございます 昨年もたくさんのご声援ありがとうございました

昨年は夏季限定メンバーの公募が第10期を迎えました。懐かしい1期生メンバーも参加してくれて、昔を思い出しながら踊る姿を見てみると、あの頃に戻ったようでした。(私も一期生です) イベントにも力が入りますが…お天気は味方せず。「新宿エイサーまつり」は土砂降り…尋常じゃないほどの雨で逆にテンションが上がりきってしまったメンバーは大騒ぎでした。それから雨のイベントは「浅草国際通りビートフェスティバル」、「ヨコハマwailwailフェスタ」と続き…しまいにはイベントの日にも多少の雨が降っていても、「これ、昇龍にとっては降ってないも同然だね(笑)」と、おかしな感覚に陥っていました。恐るべし昇龍メンバーです。

プロモーション映像第2弾も沢山の方たちにお力添えをいただいたお陰で、何とか完成いたしました！沖縄ならではの観光スポットを巡りながらの撮影、とても素敵な映像に仕上がりました。みんな凛々しい顔つきで演舞していますが、実は裏話もいっぱいです。大量の洗濯物と格闘したり、「まだ飲むの～」と言われるまで飲んだくれたり。「時間がないから早く～」 「ここで踊るの？」などなど。無茶ぶりもしっかり受け止めるメンバーはすごいですね。

昇龍祭太鼓は一つのことを成し遂げたら、また次のプロジェクトに向けて進んでいきます。終わりなき旅のようですね。どこに向けて、どこまでゆくのか、メンバーのみんなもしっかりついてきてね！

これからも皆様に「さすが！昇龍祭太鼓！！」と思っていただけるように、努力してまいります。本年も応援よろしく願いいたします。

琉球プロジェクト

代表 水野順一郎



世界一ミルクムナリを踊っている男

あけましておめでとうございます 旧年中は格別のご愛顧を賜り 誠にありがとうございます

私と創作エイサーの出会いは1995年の那覇大綱挽まつりでした。初めて目の前で見たミルクムナリの演舞に、雷に打たれたような衝撃を受けたことを今でも鮮明に覚えています。

あれから23年…日々の練習や指導にイベント出演も数えると、何万回と踊ってきた計算になります。

世界で一番「ミルクムナリ」を踊ってきた男と言っても過言ではありません！

私のエイサー人生の原点ともいえるミルクムナリ。

23年前のあの感動を何か別の形で皆さまにお届けすることができないか…という想いを実現するべく、プロモーション映像の撮影を行うことになりました。故郷である沖縄の地で「ミルクムナリ」の撮影、天候にも恵まれた映像は、最高の出来栄になったと自負しております。

今回の作品は、沖縄県や関係各所のお力添え、および皆様からの温かいご寄付により無事に完成させることができました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、昇龍祭太鼓が大切にしているものの一つに、団体の「ブランド」があります。2011年の震災によりイベントが減少し、団体の財政は非常に厳しいものとなりましたが、自分たちのブランドを信じ、出演料を値引きしてまで、イベント出演を獲得するようなことは避けました。回復したとは言い難い財政の中でも、2013年にはPV第一弾「七月節」の撮影を敢行。その後も公演の開催や、HPやSNSによる団体の知名度向上・HPのリニューアルなど、ネット環境の整備に力を注ぎました。

それらの努力が結果として表れ始めた頃にビッグイベントへの出演依頼があり、その打ち合わせの席でプロデューサーから「失礼ですが、思っていたよりしっかりした団体で驚きました」とのお言葉を頂きました。裏を返せば「アマチュア団体として甘く見ていたが、高い意識を持ち、安心して任せられる団体」という、良い方向に期待を裏切ったのだと思います。イベントを企画する主催者サイドに「出演料安いわりには、まあまあだね」と思われるのではなく、「いつも期待以上のものを返してくれるから、多少出演料が高くても呼ぶだけの価値がある」という絶対的な信頼を得る事ができる団体であること。それこそが、昇龍祭太鼓が目指す「ブランド」だと考えています。

2020年2月7日には団体設立から10周年という節目の時を迎えます。2019年に開催予定の「記念公演」では、この確立したブランドのもと、皆さまへ感動をお届けしたいと考えています。

今後も常に向上心を忘れず邁進していく所存です。

引き続き「琉球プロジェクト」並びに「琉球舞団 昇龍祭太鼓」への応援をよろしくお願い致します。

Promotion Video Vol.2

沖縄プロモーションビデオ撮影

全編、沖縄での撮影を行った、昇龍祭太鼓PV第2弾「ミルクムナリ」
ついにその全貌が明らかになりました！撮影秘話をどうぞ☆

あれから4年、再び沖縄へ

2017年10月、メンバーみんなで沖縄へ行ってきました！私達、昇龍祭太鼓の
プロモーション映像第2弾撮影のために！！今回、獅子や手踊りのような演出
はなかったものの、「七月節」の時と同様に、壮大なスケールで撮影を行いました。
撮影場所は那覇から本部までの間、3日間でなんと計13ヶ所！！

初日の先着メンバーは各々国際通りを観光したり食事したりとゆっくり☆
その後名護へ移動！ホテル到着と同時に、明日の準備作業に突入！！

今回の撮影では、糸満に拠点をおく「古武道太鼓集団 風之舞」のお二方に棒術
で参加をして頂きました！棒術演舞はメンバーが創作、新しく黒赤の衣装も作成
しました。

次の日からの3日間は6時台に出発！なので5時台には起きての支度！！
まさに怒涛の日々でした…



恩納村の「琉球村」にて カメラのアングルを決めたり、隊列を
綺麗に揃えるのは、結構大変な作業です。

日出克さんの「ミルクムナリ」約4分フルバージョンを合計30回
近く踊ったんじゃないでしょうか。実はこれにプラスして、もう
1曲演舞しています！それは「ダイナミック琉球」です。部分ご
とやフルバージョンも入れて撮影！こちらはまだ映像が足りない
ので公開はもう少し先になりそうです。

斜面や石、砂など踊りづらい場所が多かったので苦労しました…
いつも踊ってる曲をこれだけのヘビロテで踊ったので、しばらく
「ミルクムナリ」を聴きたくないという声もちらほら（笑）沖縄
は暑かったり、風が強かったりしましたが、景色や天気も良か
ったので素晴らしい映像に仕上がりました！

そして合間には那覇祭りへ行き、関わりのある安里旗頭青年団の
旗頭を見ながら、大綱挽ぎに参加☆迫力のある大きな綱と大量の
人、人、人！！大汗かきながらみんなで綱を挽きました！その後
は皆で打ち上げ！たらふく食べて飲んで、沖縄を満喫しました☆

3日目に帰宅組のメンバーと別れたあと、残ったメン
バーで太鼓やフェーシ、指笛の音撮りもしました。
その後は読谷に向かい、元仲間である辰希さんの経営
する宿でプライベートビーチ付きの「海の邦 都屋」
に宿泊！BBQ☆食べて飲んで、騒ぎました～！
最終日は午前中からビーチに繰り出し、みんなで泳い
で楽しみました。10月になって、やっと夏らしい事が
できて嬉しかったです（笑）



個人で行くのもいいですが、観光もして飲んで騒いで、みんなで行く沖縄は本当に
楽しかったです！一生記憶に残る、良い思い出になりました。

今回も本当に沢山の方々にお手伝い頂き、予想以上に多くの方々から協賛のご協力を
賜りました。皆さまの期待に応えるために、これからも新しいことに挑戦して、
頑張っていきたいと思っております。

ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。



Location Map

PV第二弾～ロケ地マップ～

プロモーション映像第2弾の撮影ロケ地MAPを本邦初公開！！
 沖縄旅行で近くに行くときは、是非、立ち寄ってみてくださいね♪



1日目



世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群」のひとつ。万里の長城のような全長1.5キロにわたる城壁や、城内の御内原は、海と城壁を望む絶景ポイント。



島と島を結ぶ古宇利大橋は、日本で2番目に長い農道橋。左右に広がる海の色は感動的な青さ。ふれあい広場では、のんびりとした時間を満喫できる。



名護市久志区公民館前にある立派なガジュマルの樹。キジムナー(精霊)が宿る樹として昔から親しまれているガジュマルと沖縄の特徴的な赤瓦屋根に囲まれた広場。

2日目



県内各地から築80年以上の古民家が多数移築されている琉球村。そのうちのいくつかは国の有形文化財となっている。明治末期頃、「昔ながらの沖縄」の風景を感じさせる古民家集落は一見の価値あり。



すぐ沖に小さな島やキノコ岩を望む泊城(とまりぐすく)公園の中にある天然のビーチ。左手の岬には“あずま屋”があり、そこから、のんびりと海を眺めるのもお勧め。

3日目



平成4年(1992)に県民の悲願がかない復元。世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群」のひとつ。沖縄を代表する観光スポットで、守礼門に掲げられている言葉、「守礼之邦(しゅれいのくに)」は「琉球は礼節を重んじる国」という意味がある。



世界遺産である「琉球王国のグスク及び関連遺産群」のひとつ。琉球王朝時代に、この地で人々に慕われた王、阿麻和利(あまわり)の居城で、高低差を活かした城づくりが特徴。

Thailand Branch Press

タイ支部通信

2年連続で夏のイベントに参加してくれたタイ支部！！共演できる機会が増えて嬉しい限りです☆タイでの活躍ぶりをお届けします。



タイ支部 イベント出演レポート

2017年は日泰修好130周年の記念すべき年です。各地で記念するイベントが催され、タイ支部もさまざまなイベントに出演させていただきました。

「JAPAN EXPO THAILAND 2017」
バンコクで毎年開催の日泰交流イベントです。タイ支部は、3回目の出演でした。「海の声」はタイでも皆さんに大人気でした！



「新宿エイサーまつり」「西東京サマーフェスティバル」

2016年にも参加させて頂いたタイ支部長が今年も参加しました。大勢の日本人のお客様の前で披露する演舞はタイでは経験できない貴重なものでした。目の前のお客様が団体の演舞で涙を浮かべているところを見て、これからも心に届く演舞を目指したいと強く思いました。そして何よりも、メンバーの方々と交流ができてとても有意義なひと時でした！

「シンガポール遠征」

タイ支部初の海外遠征！“Jetstar Asia Airways”が、2017年11月17日（金）よりシンガポール - 沖縄間の直行定期便が就航となり、それに伴いオープニングセレモニーに出演させていただきました。タイ支部初の海外遠征でメンバーはさらに気持ちを引き締め稽古に励みました。お客様は、初めて見る創作エイサーの演舞をとても喜んでくださいました。記念すべきイベントに出演させて頂き、大変光栄に思います。



「ラムウォン盆踊り大会」

3年ぶりの開催となったこのお祭りは、参加人数1万人規模の一大イベントです。このお祭りは、昇龍祭太鼓の前身団体の時から水野代表が繋げてくださった、タイ支部結成のきっかけになった大切なイベントです。今回はタイ支部として、初めて出演させていただきました。メンバーも増えて大きな目標の一つだったイベントに出演できたことをとても嬉しく思います。

これからも今まで以上に良い演舞をお届け出来る様、精一杯頑張って参ります。

今後共ご声援を宜しくお願い申し上げます。

琉球舞團 昇龍祭太鼓タイ支部 一同

Kumamoto Expedition

熊本遠征レポート

縁あって繋がった「昇龍」と「白龍」きっかけは桃神祭でした。
今年も一月から白龍會さんのお手伝いに参加させていただきます。



復興の祈りを込めて

8月5日、熊本県菊池市で行われた「きくち夏まつり」に参加しました。2016年に桃神祭でお手伝いさせていただいた白龍會さんとの素敵なご縁から今回の嬉しい出演が決まりました！同じ「龍」繋がりということもあり、桃神祭の時に意気投合！その時に本場菊池で、迫力のある白龍の舞う姿を見たい！そして、エイサーで共演したい！という気持ちを語り合っていました。また何より白龍會の皆様のお人柄に触れ、またお会いしたい！という気持ちが募っている時に、この共演が決まったのです！熊本までの移動手段はなんと……昇龍バス！前日の夜に出発し、約15時間かけて熊本県菊池市まで向かいました。道中、2016年に発生した熊本地震の爪痕を目の当たりにし、まだまだ復興の途中であるということを感じました。そして私たちの演舞が少しでも、熊本の皆様の力になればという想いが込み上げてきました。

本番では、菊池の皆様と一緒に盛り上がり、フィナーレではカッコいい白龍の入場とともに素敵な思い出を作ることができました！今度は東京で共演したいですね！

最後に熊本の復興を心からお祈り申し上げます



大迫力の「菊池白龍會」さん！！
見るものを圧倒させるパワーがあります。



Member Introduction

デビュー & 新人メンバー紹介

昨年は夏季メンバーからの若い力が見事デビュー！！練習場で新人メンバーの姿が増えてきました。みんな湖々に続け～！！



鈴木 湖々 **Debut!!**

Coco Suzuki

いろんな方の支えがあり、無事デビューをすることができました！やっとスタートラインに立った気持ちで、これからも頑張ります！！
応援よろしくお祈いします☆



三井 源也 **Rookie**

Motoya Mitsui

エイサーについて何も知りませんでした。沖縄好き繋がりからの紹介で2017年夏季メンバーに挑戦、面白かったので入団しました！立ちはだかる練習の壁、終わりは全く見えませんが地道に稽古を積んでいきたいと思いますのでよろしくお祈いします！



庄司 優果 **Rookie**

Yuka Shoji

YouTubeで昇龍祭太鼓を見つけ入団しました。練習に行くと動画に映っていた先輩方がいらっしゃるので、とてもワクワクします。1日でも早くデビューできるよう、自分らしく一生懸命頑張ります！



【募集詳細】

- 年会費5000円（スポーツ保険含む）
- 高校生から概ね30歳ぐらいの方（小・中学生応相談）
- 初心者大歓迎です。（団員のほとんどがゼロスタート）
- 沖縄出身でなくても大丈夫！（他県出身者も多く在籍しています）
- 専用の稽古場あり（予定に合わせた練習が可能です）



【MO-LE STUDIO】

賃貸スタジオ。ダンスなどの練習に最適です。詳しくはHPにて☆

Asahikawa Blanch Press

旭川支部通信

旭川支部、初めての「新宿エイサーまつり」は何と大雨！！忘れられないイベントになりました。旭川での出演依頼も増加中！注目です！



新宿エイサーの打ち上げで
タイ支部長と記念撮影☆
慣れない東京でのイベント
で疲れたとは思いますが、
思い出深い一日になったの
ではないでしょうか。



こんにちは。旭川支部です。昨年は8月に「新宿エイサーまつり」、10月には「沖縄PV撮影」に合流させて貰い、多くの経験と勉強をさせて頂きました。どちらもとんでもなくハードなスケジュールの中、なんとか本部のメンバーについていかななくてはと必死でしたが、その分 数多くの思い出が支部メンバーそれぞれにできました！

特に沖縄ロケでは一日中同じ曲を踊り続け、想像の上をいくハードスケジュールを本部メンバーの皆さんと一緒に成し遂げました。北海道に帰ってきて、いつもの旭川駅に着いたときには、ボロボロになった身体を引きずりながら、撮影終了の達成感と旅の思い出に涙が出ました。

そんな中、本拠地旭川でも、「イオンモール旭川」「北竜町メロンスイカ祭り」「クリスマスイベント」や「旭川泡盛の会」など新しいイベントや 毎年呼んでくださっているイベントなど数多くのご依頼を頂戴し、演舞をさせて頂いております。出演依頼が少しずつ増えていることに感謝の気持ちでいっぱいです。

11月中旬から一気に寒くなった北海道は、もう真っ白な世界に姿を変えました。寒さと同時にイベントも少なくなってしまうのですが更に日々の稽古に励んでいこうと思っている今日この頃です。

本年も旭川支部共々、昇龍祭太鼓をよろしくお願ひいたします。

昇龍祭太鼓 旭川支部
支部長 篠原将太



◆エイサーの練習をするときは、とことん真剣に！本部との指導合宿では、ぶっ通しで6時間の練習を4日連続でこなしたことも。本当に真面目な旭川支部のメンバーですが、遊ぶときもとことん遊びます！！初めての新宿エイサーでも若い力に溢れたその魅力に本部のメンバーも良い刺激を受けました。

Interview

昇龍メンバー対談

不定期新企画スタート！！メンバー同士の会話から、普段のイベントではわからない団員の一面が見えるかもしれませんよ☆

小島守央 × 照屋美月



美月 お疲れ様です。今日はよろしくお願ひします！
 小島 よろしくお願ひします。何か緊張しますね（笑）
 美月 改めてだと照れますね（笑）この対談に向けて色々話すこと考えてて、やっぱり芸歴が長いメンバー同士なので、そういう話をしたいなって思ってます。
 小島さんは今、昇龍に入団して何年目でしたっけ？
 小島 今は、7年目になりますかね。
 美月 え！長い！私今10年目なので、私が3年目の時に入団してきたんですね…
 小島 じゃあ美月さんが前身団体にいたのは二年くらいですか？
 美月 そうなりますかね。だから期間は大して変わらないですね。

バチ回しが楽しかった！？

美月 入団して、最初は新人として活動して…気が付けば上の立場になっているじゃないですか。以前の自分を振り返ってみてどうですか？
 小島 う～へん、そうですね…あの頃と圧倒的に違うのは、練習量が全然違いますかね。
 美月 それってどういうことですか？
 小島 今はそこの練習日も少ないんですけど、以前は週3、4回とか、がむしゃらにやっていたんで…だけど、その時の事があるから、多分今の練習量でも何とかやっていけるのかなと。やっぱり新人の時って大事じゃないですか。デビューまで走っていかなきゃいけないって…なかなか一回停滞しちゃうとデビューが遅くなってしまうし、自分もデビューまで長かったんで。
 美月 え！そうでしたっけ？
 小島 長かったですよ。二年ちょいとか。
 美月 私かもしデビューまで二年とかかかったら結構くじけちゃうんじゃないかって思うんですけど、何か続けられたわけとかあったんですか？
 小島 続けられたのは…単純に楽しかったからですかね。
 美月 おお～。でも当時小島さんが新人さんだったころって、イベントにデビュー前の新人さんを出す事って今よりも少なかったと思うんですよ。「新人さんをイベントに出演させて鍛える」って考えがあまりなくて…お客さんの前で踊る楽しさをしらない中でも楽しかったということは、とにかく踊るのが楽しかったってことですか？
 小島 練習が、そうですね…面白かったです。バチ回し（一番基礎の技）ですら僕結構楽しかったですよ（笑）
 美月 ええ～！
 小島 自分をストイックに追いこんで、腕とか曲がらなくなるまで練習して、よし！頑張ったぞ！みたいな（笑）
 美月 えー、それ変態ですよ（笑）

入団のきっかけ

小島 当時、何かに一直線になれるものが欲しかったんですよ。その時に、たまたまエイサーに出会いました。
 美月 見たきっかけは？YouTubeでしたっけ？
 小島 新宿エイサーで他団体の演舞を見て、やりたいうって！と思いました。団体を探していたらたまたま昇龍に出会いました。
 美月 へえ～、でも「やりたい！」って思っても、なかなか行動に移せない人が多いと思うんです。だから、その行動力が今の小島さんに繋がっているんだらうなって。今、ネットとか見て見学とか来て下さる方が沢山いますよね。でもやっぱり本物も見てほしいな～って思うんですよ。
 小島 そうですよ。やっぱり演舞を生と映像で見るのは全然違いますよね。
 美月 私みたいに一般公募生上りの人も、もちろん沢山いますけど、やっぱり生で見た人が「やりたい！」って入団してくれたら嬉しいなあ。

先輩の言葉

美月 いま男性メンバー少ないですし、もっと小島さんがガンガン目立ってほしいなって。
 小島 いやいやいや（笑）
 美月 小島さんの手踊りがいいという話もよく聞きますよ。男性で繊細な手つきができる人は少ないって。私はどうしたらかっこよく見えるかを考えるのが好きなんですけど、小島さんの踊りを見てると、そういうの好きな人なんだなって思います。
 小島 でも、僕、美月さんや美織さんに多大なる影響受けてますよ。最初の頃「ロボットみたい」って言われてたんですよ。（笑）当時の演技は相当ヤバかったと思うんですけど…
 美月 確かにそうだったかも。（笑）でも何にそんな影響を受けたんですか？
 小島 先輩方からのアドバイスですね。僕は結構人から言われたことずっと覚えてるんで。指導された時の事とかすごい覚えてますもん。
 美月 私多分何言ったか覚えてない。
 小島 えっ！でも僕はちゃんと覚えてますよ。宏太さん（OBの先輩）に言われた事とかも覚えてますし。
 美月 すごいな、それは！
 小島 公演の後、美織さんに「小島さん、笑顔がないな～。」って言われた事とかも覚えてます。結構そういう言葉が刺さって、直さなきゃって。実は自分の笑った顔とかもあんまり好きじゃないんです。あんまり人の前で言った事ないけど。

美月 え！？そうなんですか？意外！
 小島 だから、人前で笑うのとかあんまりできなかったんですけど…でも当時ジュニアメンバーだった凛ちゃんとかにも言われて、「ああ、直さなきゃって。」
 美月 でも、その記憶とかが今の小島さんを作っているんですね。

水野さんの指導力

小島 今は後輩とかに教えるのが難しいなと。新人さん、苦戦してるじゃないですか。テストとか合格させてあげられなかったりすると、指導が悪かったのかなあって。美月さんは教える時に心がけてる事とかありますか？
 美月 そうですね、私の中で指導者の絶対的見本は水野さんなんですよ。水野さんって、一人に対しても大人数に対しても教えられるじゃないですか。それってすごいなって。その指導を受けた側として思うのは、同じ指導の仕方は絶対にやらないなって。一人に対しての時はその人にしか言えない事を言っていて、全体的にチームとしてみた時の踊りを指導しているなって。教えてくれた人の事がどうだったかを考えながら指導するようにしています。
 小島 なるほど！やっぱり見ると違いますがね。美月さん教えるの上手ですもん。
 美月 いやいや（笑）
 小島 僕、多分今日のこの話忘れないですよ。
 美月 これ残りますけどね！！
 小島 確かに！！（笑）
 最後に…
 小島 これって、凄いいち話しちゃいましたが、大丈夫かな？（汗）
 美月 いいと思います！最後に一言あります？
 小島 あ、足が痺れた…
 美月 私もだよ！（笑）でもね、やっぱりこれからも長年続けてきたメンバーとして頑張っていきたいよ。
 小島 そうですね。ありがとうございました。
 美月 足、しびれて立てないかも…（笑）

Shoryu photo gallery

昇龍写真館 2017

雨に縁があった昨年一年間（笑）それでもお客様が応援してくれるのは本当に有難いことです。貴重な写真を沢山撮っていただきました☆

